

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 ワイエシイ株式会社  
 コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 平井 雄一  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL 042-546-1161

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	9,266	△45.3	394	△82.2	578	△72.4	359	△72.8
20年3月期第3四半期	16,943	11.2	2,210	5.3	2,095	4.0	1,322	0.0

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	38.67	—
20年3月期第3四半期	137.02	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	18,853		10,607	56.3			1,140.84	
20年3月期	21,401		10,729	50.1			1,154.00	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,607百万円 20年3月期 10,729百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	△40.1	220	△90.4	380	△84.0	170	△88.8	18.28

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 9,674,587株 20年3月期 9,674,587株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 376,865株 20年3月期 376,851株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 9,297,727株 20年3月期第3四半期 9,652,055株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績の予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因により変動する可能性があります。

なお、連結業績予想に関する定性的情報は、2ページ【定性的情報財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準摘要指針第14号)を適用しています。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しています。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期連結会計年度における我が国経済は、米国発の金融危機の影響により、消費マインドが冷え込み世界的に景気低迷する中、円高、株安が企業業績を圧迫し、設備投資、人員配置の見直し等が行われ、急速な景気後退局面を迎えました。

このような厳しい経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結会計年度は、売上92億66百万円という結果となりました。

製品別セグメントにおきましては、当社グループの産業エレクトロニクス関連事業のハードディスク関連装置分野および半導体関連装置分野は、顧客企業の設備投資の見直しから、売上は前年度に比べ大幅な減収となりました。液晶パネル関連装置分野では、中小型液晶パネル製造装置の売上が中心でありましたが、次期連結会計年度におきましては大型案件の納入が控えております。

一方、クリーニング関連その他事業におきましては、展示会出展等営業活動をいたしましたましたが、景気の停滞の影響があり売上げが低迷する結果となりました。今後、中国市場の開拓に向け積極的に販売促進活動を行います。

利益につきましては、昨今の景気の停滞という経済事情による売上減、原材料高騰に対応して適正販売価格の維持を図ったなどにより、売上総利益は20億26百万円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期より微減し、16億32百万円となりました。この結果、営業利益3億94百万円となりました。また営業外収支が1億83百万円計上することになり、当期純利益3億59百万円となりましたが、営業利益、当期純利益いずれも前年実績を下回りました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の資産につきましては、受取手形及び売掛金などの流動資産が減少したことから資産の残高は前連結会計年度末に比べ25億48百万円減少し188億53百万円となりました。負債の残高は、借入金の返済により、前連結会計年度に比べ24億26百万円減少し82億46百万円となりました。純資産は前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少しました。この結果、総資産が減少したことにより自己資本比率は56.3%（前期末50.1%）と前期末比増加致しました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは51億43百万円の獲得（前年同期は42億93百万円の使用）主な増加要因は税金等調整前四半期純利益5億73百万円、売上債権の減少54億59百万円であります。一方、主な減少要因は法人税等の支払額3億47百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは9百万円の使用（前年同期は2億98百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出17百万円と有形固定資産の売却による収入などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは26億45百万円の使用（前年同期は36億39百万円の獲得）となりました。これは主に借入金の返済23億65百万円、配当金の支払額2億78百万円によるものであります。

以上により現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ24億25百万円増加の70億46百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、前述の企業経営環境及び第3四半期連結累計期間の業績を鑑み、平成20年11月14日に公表いたしました通期連結業績予想を見直しております。

## 平成21年3月期通期連結業績予想

	前回予想 (平成20年11月14日公表)	今回予想 (平成21年2月12日公表)	増減額/増減率(%)
売上高	13,500	12,700	△800/△5.9%
営業利益	640	220	△420/△65.6%
経常利益	650	380	△270/△41.5%
当期純利益	390	170	△220/△56.4%

※ 上記の通期連結業績予想は、本第3四半期決算短信の発表時現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、国内外の経済環境、原材料の相場の変動、各種通貨の為替レートの変動その他の要因により記載いたしました予想数値と大きく異なる場合があることをご承知おきください。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はございません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定に当たり加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

## ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、第2四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,053,030	4,625,464
受取手形及び売掛金	3,703,300	9,217,545
商品	85,356	103,436
製品	539,830	391,615
原材料	601,636	609,733
仕掛品	3,162,003	3,044,796
繰延税金資産	118,341	182,984
その他	531,229	70,167
貸倒引当金	△2,650	△9,865
流動資産合計	15,792,078	18,235,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,649,874	1,646,313
減価償却累計額	△1,138,929	△1,099,854
建物及び構築物(純額)	510,944	546,458
機械装置及び運搬具	70,969	122,116
減価償却累計額	△56,157	△105,945
機械装置及び運搬具(純額)	14,811	16,170
工具、器具及び備品	1,047,883	994,733
減価償却累計額	△856,625	△772,022
工具、器具及び備品(純額)	191,258	222,711
土地	2,042,412	2,042,412
リース資産	14,806	—
減価償却累計額	△1,019	—
リース資産(純額)	13,787	—
有形固定資産合計	2,773,213	2,827,752
無形固定資産		
のれん	79,459	87,148
その他	12,340	12,359
無形固定資産合計	91,799	99,508
投資その他の資産		
投資有価証券	150,048	187,203
長期滞留債権等	34,970	34,824
その他	66,033	71,252
貸倒引当金	△54,895	△54,749
投資その他の資産合計	196,157	238,530
固定資産合計	3,061,171	3,165,791
資産合計	18,853,249	21,401,670

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,169,973	4,133,493
短期借入金	621,080	3,346,740
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	46,883	264,310
未払費用	223,637	227,374
賞与引当金	58,362	109,200
その他	259,225	118,480
流動負債合計	5,679,162	8,499,598
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	1,281,640	921,590
繰延税金負債	155,359	124,839
退職給付引当金	429,879	426,042
固定負債合計	2,566,878	2,172,471
負債合計	8,246,041	10,672,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	4,847,220	4,766,607
自己株式	△376,088	△376,077
株主資本合計	10,810,088	10,729,487
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,118	17,414
為替換算調整勘定	△206,998	△17,301
評価・換算差額等合計	△202,880	112
純資産合計	10,607,208	10,729,599
負債純資産合計	18,853,249	21,401,670

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	9,266,615
売上原価	7,240,105
売上総利益	2,026,510
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	503,861
賞与引当金繰入額	18,750
福利厚生費	24,777
賃借料	58,215
業務委託費	105,915
研究開発費	219,789
減価償却費	84,306
その他	616,678
販売費及び一般管理費合計	1,632,295
営業利益	394,215
営業外収益	
受取利息	16,463
受取配当金	1,209
為替差益	200,724
受取賃貸料	8,550
その他	6,957
営業外収益合計	233,904
営業外費用	
支払利息	38,708
ファクタリング料	858
持分法による投資損失	6,292
その他	4,241
営業外費用合計	50,101
経常利益	578,018
特別利益	
固定資産売却益	6,182
貸倒引当金戻入額	4,073
特別利益合計	10,256
特別損失	
固定資産除売却損	1,674
投資有価証券評価損	12,940
特別損失合計	14,614
税金等調整前四半期純利益	573,659
法人税、住民税及び事業税	117,677
法人税等調整額	96,437
法人税等合計	214,114
四半期純利益	359,545

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	1,751,903
売上原価	1,375,676
売上総利益	376,226
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	161,635
賞与引当金繰入額	18,750
福利厚生費	5,783
賃借料	17,749
業務委託費	31,592
研究開発費	67,037
減価償却費	28,971
その他	180,523
販売費及び一般管理費合計	512,042
営業損失(△)	△135,815
営業外収益	
受取利息	5,852
受取配当金	85
為替差益	152,374
受取賃貸料	2,882
その他	4,710
営業外収益合計	165,905
営業外費用	
支払利息	11,407
ファクタリング料	153
持分法による投資損失	1,933
その他	1,312
営業外費用合計	14,807
経常利益	15,282
特別利益	
貸倒引当金戻入額	△3,162
特別利益合計	△3,162
特別損失	
固定資産除売却損	1,657
投資有価証券評価損	12,940
特別損失合計	14,598
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,479
法人税、住民税及び事業税	△107,442
法人税等調整額	71,937
法人税等合計	△35,505
四半期純利益	33,025

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	573,659
減価償却費	133,055
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,836
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,069
受取利息及び受取配当金	△17,672
支払利息	38,708
為替差損益(△は益)	△16,589
持分法による投資損益(△は益)	6,292
投資有価証券評価損益(△は益)	12,940
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,508
会員権売却損益(△は益)	359
売上債権の増減額(△は増加)	5,459,486
たな卸資産の増減額(△は増加)	△322,640
仕入債務の増減額(△は減少)	57,116
未収消費税等の増減額(△は増加)	△121,644
その他	△287,049
小計	5,508,280
利息及び配当金の受取額	16,872
利息の支払額	△34,470
法人税等の支払額	△347,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,143,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,800
有形固定資産の取得による支出	△17,678
有形固定資産の売却による収入	8,350
ソフトウェアの取得による支出	△1,329
会員権の売却による収入	2,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,860,000
長期借入れによる収入	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△505,610
配当金の支払額	△278,931
自己株式の取得による支出	△11
その他	△1,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,645,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61,960
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,425,766
現金及び現金同等物の期首残高	4,621,064
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,046,830

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	産業用エレクトロニクス関連事業 (千円)	クリーニング関連その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高				—	
(1) 外部顧客に対する売上高	8,123,449	1,143,166	9,266,615	—	9,266,615
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,123,449	1,143,166	9,266,615	—	9,266,615
営業利益	837,950	10,530	848,480	(454,265)	394,215

(注) 1. 事業区分の方法

事業は製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
産業用エレクトロニクス関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードディスク関連製品 ハードディスク製造用パニッシング装置 クリーンコンベアシステム</li> <li>・液晶関連製品 液晶用プラズマドライエッチング、アッシング装置</li> <li>・半導体関連製品 各種ICテストハンドラー及び関連機器</li> </ul>
クリーニング関連その他事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーニング業界向け各種仕上機</li> <li>クリーニング業界向け各種包装機</li> <li>その他クリーニング関連自動化機器</li> </ul>

3. 在外子会社等の資産、負債、収益及び費用は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,333,752	162,180	770,682	9,266,615	—	9,266,615
(2) セグメント間の内部売上高	748,315	21,372	256	769,943	(769,943)	—
計	9,082,068	183,552	770,938	10,036,559	(769,943)	9,266,615
営業利益	856,768	8,169	57,414	922,352	(528,137)	394,215

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米……アメリカ
- (2) アジア……シンガポール

3. 在外子会社等の資産、負債、収益及び費用は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算しております。

## 〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

項 目	アジア	北 米	欧 州	計
I 海外売上高(千円)	4,221,854	569,042	34,717	4,825,614
II 連結売上高(千円)				9,266,615
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	45.6	6.1	0.4	52.1

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア……台湾、シンガポール、マレーシア、韓国、中国、タイ、フィリピン、ベトナム

(2) 北米……アメリカ

(3) 欧州……ドイツ、アイルランド、オランダ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4. 在外子会社等の資産、負債、収益及び費用は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	16,943,830
II 売上原価	13,061,636
売上総利益	3,882,193
III 販売費及び一般管理費	1,672,116
営業利益	2,210,077
IV 営業外収益	57,233
V 営業外費用	171,365
経常利益	2,095,945
VI 特別利益	5,412
VII 特別損失	829
税金等調整前四半期純利益	2,100,527
法人税、住民税及び事業税	719,735
法人税等調整額	58,245
四半期純利益	1,322,546

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,100,527
減価償却費	105,280
退職給付引当金の増減額	21,172
賞与引当金の増減額	△63,900
売上債権の増減額	△3,680,336
たな卸資産の増減額	2,243,827
仕入債務の増減額	△4,088,433
未払消費税の増減額	314,419
その他	△23,152
小計	△3,070,594
利息及び配当金の受取額	42,975
利息の支払額	△35,462
法人税等の支払額	△1,230,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,293,760
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△210,975
投資有価証券の取得による支出	△100,000
その他	12,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298,570
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額	3,307,530
長期借入金による収入	1,189,050
長期借入金の返済による支出	△469,000
配当金の支払額	△337,821
その他	△50,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,639,681
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△35,602
<b>V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)</b>	△988,251
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	5,335,680
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	4,347,428